

外来化学療法室

当院外来化学療法室は、リクライニングシート3床とベッド1床の計4床で運用しています。患者さんの安全と安心・リラックスして治療を受けていただけるように医師、看護師、薬剤師が連携して投与管理、服薬指導、副作用に伴う生活面での指導などを行なっています。

治療のながれ

1. 診察前に採血やレントゲンなど検査を行い、当日の全身状態をチェックします。
2. 担当科による外来診察を行います。
3. 診察および採血の結果、全身状態に問題がなければ化学療法実施と判断されます。
4. 治療決定後、化学療法室で治療開始です。
 - *薬剤は薬剤部で厳密に調整を行なっています。
 - *リクライニングシートでリラックスした姿勢で治療を受けて頂いています。
5. 投薬終了時に全身状態に問題なければ帰宅です。
6. 帰宅後に体調変化が生じた場合は病院へ連絡していただき即日外来対応しています。
 - *夜間や休日の際は救急外来で対応しています。



最後に

認定看護師が治療に対する不安や副作用出現時の対処方法など患者相談を受けています。

いつでも病院にご連絡ください。



薬剤部



不整脈のお薬

不整脈には、脈が正常より速くなる頻脈性不整脈と、正常より遅くなる徐脈性不整脈があります。

頻脈性不整脈は、薬物治療が行われます。

徐脈性不整脈は、ペースメーカー治療が広く行われます。

不整脈の薬は、作用機序から大きく5つに分類されます。

下記の注意以外にも気になる症状が出た場合は、受診をおすすめします。

I. 異常な電気刺激を抑えて脈を整える薬

代表的な薬(先発医薬品名)	注意すること
ジソピラミド (リスモダン、リスモダンR) シベンゾリン(シベノール)	定期的に心電図検査を受けて下さい。 糖尿病治療中の人は、低血糖に注意してください。
メキシチレン(メキシチール)	定期的に心電図検査を受けて下さい。
ピルシカイニド(サンリズム) フレカイニド(タンボコール)	定期的に心電図検査を受けて下さい。

II. 心臓の働きを抑えて脈を整える薬

アテノロール(テノーミン) ビソプロロール(メインテート)	飲み始めに、だるさやめまいを感じる場合があります。 喘息治療中の人は、発作の誘発に注意してください。
プロプラノロール(インデラル)	飲み始めに、だるさやめまいを感じる場合があります。 喘息治療中の人は、服用できません。

III. 乱れた心拍のリズムを正常化して脈を整える薬

アミオダロン(アンカロン)	定期的に心電図検査を受けて下さい。 肺の過敏症状(咳、息切れ、発熱など)が現れたら、受診して下さい。
---------------	---

IV. 心臓や体の血管を広げて血流をよくし、脈をゆっくりさせて心臓を休ませる薬

ベラパミル(ワソラン)	定期的に心電図検査を受けて下さい。 歯肉をよくブラッシングして口腔内を清潔に保ち、歯肉の腫れを予防しましょう。
-------------	--

V. 心臓の収縮力を高め、脈をゆっくりさせる薬
(心不全など心臓が弱っている時に用いる)

メチルジゴキシン(ラニラピッド)	患者さんに合わせて服用量を調節するので、定期的に受診して下さい。
------------------	----------------------------------



栄養管理部

食べ物で冷え性予防

まだまだ寒い日が続き、手足の冷えに悩んでいる方が多いのではないのでしょうか。

血流が悪いと身体の末端まで熱が運ばれず、冷え性となってしまいます。

血行を良くする栄養素には右のようなものがあります。これらを食べ物で効率良く取り入れて、冷え性対策をしましょう。

生姜を加熱すると生じる

ショウガオール

かぼちゃ、ナッツ類、うなぎなどに多く含まれる

ビタミンE

豚肉、豆類などに多く含まれる

ビタミンB1

緑黄色野菜、果物などに多く含まれる

ビタミンC

～生姜たっぷりレシピ～



ほっこり生姜鍋



《材 料》

豚肉、白菜、長ネギ、水菜、しいたけ、豆腐などお好きな具材。

【スープ】(2人分)

だし汁	800ml
醤油	大さじ3杯
酒	大さじ1杯
みりん	大さじ1杯
塩	小さじ1/3
大根	10cm
おろし生姜	大さじ2杯

《作り方》

1. 具材を食べやすい大きさに切る。
2. 大根は皮をむき、すりおろしてザルに入れ、軽く水気を切っておく。
3. 鍋に【スープ】の材料を入れて火にかけ、沸騰したら具材を入れて煮る。